

# 新潟労福協

No 17 2014年4月25日  
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会  
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2  
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891  
E-mail:ni-rfk@bz04.plala.or.jp  
URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>  
発行責任者 山田太郎

## 「にいがた福祉リーダー塾」開講 労働者自主福祉運動の新たな発展を期す人材育成

2月21日～22日、万代シルバーホテルにおいて「にいがた福祉リーダー塾」が新潟県ろうきん福祉財団の後援を受け開催され、33名（塾生25名）が参加しました。

新潟県労福協は地域で働き暮らす人たちの抱え



ている生活問題や雇用に関わる問題解決には、顔の見える運動が必要であり、地区労福協運動の強化を掲げています。地区労福協を基軸に行政やボランティア組織、NPO、労働者福祉事業団体など、地域の様々な組織と連携し勤労者の福祉向上

をめざし広範な活動を地域展開するためには、人材の育成が不可欠であり、新たな時代に対応する労福協運動を担い、労働者自主福祉運動を創造していく人材育成を目的として、今年度より「にいがた福祉リーダー塾」を開講しました。



第一講座の高橋均・中央労福協前事務局長から、「歴史背景から、労福協の誕生～ろうきん・生協の成り立ち、労働組合との関係性など」をわかりやすく講義を受け、第二講座の田村正勝・早稲田大学教授からは「今起こっている時代のものの見



ぬくもりのある事業で生活の安定、向上を目指す。」

「ゆとり、公正、連帶の三位一体の社会を」最後にあそびましょう！と締め括られました。

翌日の高木郁

朗・日本女子大学名誉教授からは「21世紀前半をにらんで、日本の社会と経済のあり方を考え、労働組合と労働者自主福祉事業団体がどのような活動を展開すべきか」と講義されました。高木先生いわく「遊んでばかりではダメ。仕事をするべきだ。」「リーダーは、ブリッジビルダーでよい！」心に残る言葉でした。

この度、地方労福協の中では、全国に先駆け最初に福祉リーダー塾を開催することとなりました。

後援していただいた新潟ろうきん福祉財団からは、「新潟県は人口減少に伴う地域経済への影響は深刻なものです。県内で核となるリーダーが誕生することを願って、当財団としても力を入れていきます。」との思いが寄せられました。



## 歓迎！東部ブロック労福協の皆さん 新潟日報社見学

2月24日（月）～25日（火）、東部ブロック労福協の第196回幹事会が弥彦村で開催されました。新潟県開催は数年に一度ということもあり、東京・関東地方の皆さんには、雪の越後情緒に浸ってもらう受け入れを計画していましたが、あまりの小雪（無雪）にビックリしていたようです。

それというのも先週には、関東一円で記録的な豪雪を経験し、大きな被害を受けた地域からの参加者もあり想定外の真冬模様だったようでした。



幹事会は、中央・地方労福協の活動報告と当面する取り組みについて意思統一が図られました。

2日目は、新潟日報社黒崎本社を見学し、受信製版室、巨大な立体用紙庫、最新鋭の高速シャフトレス輪転機や新聞発送の説明を受け、広大な印刷センターを興味深く見学されていました。

### 平成26年度予算編成に向けた政策提言 県知事へ要請書の提出 生活困窮者支援モデル事業の拡充に向けて

1月28日（火）県労福協は、泉田知事を訪問し労働者福祉に関する要請書を提出しました。要請内容は、①東日本大震災の被災者・避難者支援、②生活困窮者自立支援モデル事業の拡充に向けて、③多重債務など、マネートラブル対策、④消費者政策の充

実・強化、⑤中小企業勤労者の福祉の向上の5項目です。重点的に意見交換した課題は、昨年暮れに関連法案が成立した生活困窮者自立支援モデル事業の実施主体が県から自治体にシフトすることにより、相談事業の実施地域に差異がないような対応、また、登録されている相談者に対する支援が継続できるよう要望し意見交換がされました。

泉田知事からは、「これまで積み上げたPS事業のノウハウと実績を評価したい。自治体単位で支援事業を細分化し実施することは、事業のスキルアップとはならない。また、広域エリア単位の支援サービスは、自治体間の連携が必要であり、県の立場でフォローしていきたい。」との回答がありました。

このモデル事業は2014年度も継続されますが、貧困を生み出す原因をなくしていく取り組みも重要であり、問われるべきは働きたくとも働けない、働いていても生活できない今の社会の姿にこそ課題があるのではないか。どうか。

県労福協は引き続きこの事業に携わる中で、社会の共感を得られる事業と運動の一翼を担っていくこととします。



### 労働者の暮らしをサポート 育成会

（正式名称）

「労働者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会は新潟労金に加入している団体会員（県内約2400会員）によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で労働者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された労金常任推進機構から選出されています。

### 夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない労働者の方が、労金を利用する際に加入いただぐメンバースクラブです。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

ご加入資格 県内に居住または勤務する労働者の方。  
ご入会（年会費はかかりません）

入会時に500円（加入金）が必要となります。  
最寄りの労金本支店で手続きできます。



## 新潟地区労福協

# 2014年新春の集い

新潟地区労福協は、1月30日、新潟東映ホテルにおいて、2014新春の集いを開催し、関係団体の方々や各級議員など44名の来賓と各労働組合



など、総勢210名の参加をいただきました。

はじめに、主催者を代表し田代地区労福協会長（連合新潟地

協議長）が、「政府自民党が解雇の金錢的解決等、労働者の尊厳を踏みにじる政策の導入に踏み込もうとしている今、私たち労働組合などがその阻止に向け行動を起こさなければ、安心・安全の社会の構築などできるものではない。本年もこれまでの労福協の運動を踏襲しながらも、社会のニーズに耳を傾け、時代にあった運動を創造し実践していきたい」と抱負を交えてあいさつされました。

続いて、山田県労福協専務より県労福協の当面する課題について、篠田新潟市長から新潟市の取り組み紹介などについての挨拶がありました。

宴は、伊与部地区労福協副会長（総合生協新潟中央支局長）の乾杯の発声で始まり、アトラクションでは、総合生協クルコのプライベート商品などが40名に当たる抽選会が行われました。それぞれのテーブルで花が咲き交流時間もアツという間に過ぎ、最後は上田地区労福協副会長（労働金庫本店営業部長）の中々で閉会となりました。

## 県央地区労福協

# 2014年賀詞交換会

1月15日（水）燕三条ワシントンホテルにおいて、県央地区労福協の「2014年新春賀詞交歓会」が174名の参加の中で開催されました。

主催者を代表して、宮口議長は、「アベノミクス効果もあり期待感だけが大きいが、県央地域の地場の状況は厳しいまま。2014春季生活闘争はいよいよ本番戦に突入する。地場の共闘体制を強化して情報を共有し粘り強い交渉をしよう！」と呼びかけました。

来賓を代表し、県労福協斎藤理事長（連合新潟会長）からは、県労福協や各地区労福協の運動の再構築や課題の他、各地区で展開する「労働者福祉・生活者福祉」、ライフサポート事業の充実についての抱負が述べられました。

鏡開きの後、賀詞交歓会がスタートし、来賓に迎えた菊田まさこ、鷲尾英一郎衆議院議員から祝辞の後、恒



例のお楽しみ抽選会で大いに盛り上がりました。会場内の交流も活発となり、2014春闘交渉は正念場だ。しっかりと交渉し、景気回復を地域で実感できるものにしたい」「県央エリアを元気にしていこう！」「各組織と産別を超えて交流をしたい！」など有意義な交歓会となりました。

## 「STOP THE 格差社会！ 暮らしの底上げ実現キャンペーン」

1月31日、全電通労働会館において、連合主催のシンポジウム「強固な社会的セーフティネットを構築しよう！～生活困窮者支援の課題」が開催されました。

基調講演では、中央大学法学部教授・宮本太郎氏による「生活困窮者支援法の意義と今後の課題の解決に向けて」の講演がありました。第二部のパネルディスカッションでは、平川則男氏（連合生活福祉局長）コーディネーター、宮本太郎氏をコメントターに、遠藤



智子氏（社会的包摶サポートセンター事務局長）、玉城勉氏（沖縄県労福協専務理事）、大川昭博氏（自治労社会福祉評議会福祉事務所）、薗田薰氏（たちかわ、かわさき若者サポートステーション統括アドバイザー）、遠藤拓氏（毎日新聞社会部記者）など、パネラーによるディスカッションが行われました。

それぞれの立場から現状の課題と生活困窮者自立支援法の成立によって、強固な社会的セーフティネット構築に向けた事業の展望が語られました。

**第11回ハバロフスク地方労働組合  
友好と連帯を誓い  
－代表団5名が来新して交流－**

国際交流協定にもとづき、第11回ハバロフスク地方労働組合団体連合会の代表団（コノネーンコ・ガリーナ団長以下5名・通訳含む）が、3月21～28日の日程で来日されました。

**<新潟市表敬訪問と連合新潟・労福協との交流>**

今回の交流は、2013年10月に計画していたものが、昨年8月のアムール川の大洪水により多くの組合員が被災され、労働組合として、救援対策にあたるため交流が延



期となっていたものです。

これまで47年間の交流の歴史では、ハバロフスク労組の代表団は男性中心でしたが、ハバロフスク連合会の議長に初めて女性議長が就任されたこともあり、今回はメンバー全員が女性という代表団で来日されました。交流日程の最終



日となる3月27日、篠田新潟市長の招待により新潟市役所を表敬訪問し、来年は

姉妹都市提携50年を迎えるにあたり、さらに両都市間の友好・親善に向けた交流を深めていくことなど意見交換されました。

また、連合新潟の女性役員を中心とした交流会では、「なぜ、ハバロフスクでは経営者や労働組合の役員に女性のトップが多いのか」、「家庭の仕事や育児と労組役員との両立の秘訣は？」など、聞けば聞くほど、日本の男性たちにとっては、耳の痛い遅れた日本社会という姿が浮き彫りとなった交流会でした。

**<歓迎夕食会>**

歓迎夕食会には、来賓として、ロシア総領事館よりアレクニクス・ロマン副総領事を招き、連合・労金・総合生協・労福協等役員と盛大な交流会が開催されました。1966年交流協定締結以来、新潟県労福協に引き継がれて今回で11回目の訪日となります。47年間に及ぶ長い歴史と伝統に支えられ、さらに友好と連帯を深め、両国の労働者の幸せと組織の発展のための力合わせを確認した有意義な交流会となりました。

**三条市勤労青少年ホーム「ソレイユ三条」が4月1日から一般社団法人新潟県労働者福祉協議会の指定管理に、開館時間延長など新体制でスタート**

県労福協は、今年度から三条市の委託をうけ、指定管理者として同施設の運営を行う事業をスタートしました。この事業は、労福協の地域に根ざした活動として市民・労働者福祉に大きく貢献することが期待できることから県労福協と県央地区労福協が連携をとり三条市の公募に申請し委託された事業です。



(三条市勤労青少年ホーム「ソレイユ三条」)

指定管理となった新体制は、県労福協構成団体の県央地区労福協・佐藤事務局長が非常勤で館長を務められます。事務局体制は、平成13年から21年まで、三条市青少年育成センターのセンター長を務められ、この3月で定年退職された佐藤隆司事務長と引き続き勤務される女性職員1人と新採用の男性職員1人の計4人で運営にあたります。基本的なサービス内容はこれまでと同様ですが、これまで以上の利

便性や親しみやすさの向上を目指していくとしています。

佐藤館長は、労働者青少年ホームの名のとおり、



新体制（右から佐藤館長、佐藤事務長、職員）

青年層が仕事を終えられてからの拠り所、集まって何かを始められる所として楽しく使ってもらえる場の提供をしていきたいと話されています。

また、地域の拠り所としても利用されている施設でもあることから、今までの関係を続けながら、世代間交流の場としての提供もできればと抱負を語られています。

佐藤事務長は、社会では人と人とのつながりが大切であり、講座やサークル活動などに利用してもらい、人と関わることの楽しさを感じてもらいたいと語られています。

さらに多くの人に利用してもらうために、ソレイユ三条を知ってもらうことや利用者アンケートなど、今の世代のニーズを聴きながら、民間であるが故の発想で取り組んでいきたいとしています。



労働者の最も力強い味方は、労働組合です。「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」には、労使の相互信頼に基づく集団的労使関係をより多くの職場に拡大していくことが不可欠です。連合は組合づくりに取り組んでいます。ご相談ください。

## ともに働く職場に安心・安全を!

パート・有期・関連会社の仲間にも労働組合の輪を広げよう!

### 連合 日本労働組合総連合会

連合ホームページ

URL: <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

連合

検索

連合フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/jtuc.rengo>

連合モバイルサイト

<http://m.jtuc-rengo.or.jp/>

連合フィッターサイト

<https://twitter.com/unionion>

携帯電話はこちらから



(2013.4)

### JP労組新潟(ユースネット)

## フードバンクに ゆたへ寄付

4月12日（土）、JP労組新潟ユースネット（青年部）の役員9名が「フードバンクにいがた」を訪れ、2月20日から3月31日まで（40日間）県内の各支部で取り組んだフードドライブ（食品の持ち寄り）の食品を持ち込み贈呈されました。

JP労組では福祉型労働運動の一環として、これまでユースネットが中心となって取り組んでいるブックエイド活動（家庭で眠っている不要になった本、漫画、ゲームソフト、CD、DVD、ゲーム機etc）を通じ集めた品物を換金し、福祉団体に寄付する活動が継続されています。今回、フードドライブの取り組みは、新たな発想で地域貢献運動として何ができるか検討され取り組まれたものです。



組合員  
一人ひとりから各  
支部に寄  
せられた  
食品は、  
130キロほど  
あるお米  
を中心  
に段ボール

10箱ほどの各種食品が勤労福祉会館4階にあるフードバンク事務所に持ち込まれました。

フードバンクにいがたの活動は、まだ緒に就いたばかりですが、こうした活動を通じフードバンクの存在や活動内容を広く知ってもらう、理解を深めてもらうことにつなげてい行くことが重要です。

### 当面の主な活動予定

4月 25日 (金)	第6回ビジョン策定委員会
26日 (土)	新潟県中央メーデー
30日 (水)	県労福協会計監査
5月 13日 (火)	第100回県労福協理事会
14日 (水)	フードバンク三役会議
21日 (水)	第3回フードバンクにいがた総会
23日 (金)	第7回ビジョン策定委員会
26日 (月)	第197回東部ブロック幹事会 第27回チャリティゴルフ大会
6月 5日 (木)	中央労福協全国研究集会
~6日 (金)	〃 〃
13日 (金)	第1期にいがた福祉リーダー塾
14日 (土)	〃 〃 (後期)
18日 (水)	第33回県労福協定時総会 第9回県LSC定期総会
20日 (金)	東部ブロック労福協リーダー塾
21日 (土)	〃 〃
7月 1日 (火)	第5回フードバンク運営委員会
3日 (木)	第2回地方労福協会議
4日 (金)	〃 〃
12日 (金)	第2期にいがた福祉リーダー塾
13日 (土)	〃 〃 (前期)

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる  
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (平成26年3月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高（千円）
無担保ローン	29,450,276
有担保ローン	122,876,320
合 計	152,326,596

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

一般財団法人新潟県労働者信用基金協会

# 県民のための福祉活動を本格展開！ (一財)新潟ろうきん福祉財団【通称:ろうきん財団】

ろうきん財団は、2014年4月1日付で財団法人名を変更いたしました。昨年の一般財団法人へ移行後、8つの事業を展開してきましたが、「福祉はひとつ」という労福協運動を財団の設立母体である「新潟県労働金庫」事業の想いと一体となって展開していることを県民・勤労者にわかりやすく伝えるために変更いたしました。

(事務所所在地、連絡先の変更はありません。)



## 《2014年度事業》

### 県民・勤労者の福祉向上に関する事業

- ・2014にいがたワーク&ライフフォーラムin上越
- ・地域ワーク&ライフセミナー（県内3カ所）

### 自立した持続可能な地域社会創造事業

- ・地域社会創造助成事業
- ・地域づくりセミナー開催
- ・地域づくり研修会開催
- ・地域づくりコーディネート養成講座

### 奨学金給付事業

2014年度高校新1年生（中等教育学校新4年生、特別支援学校高等部新1年生含む）に対し返還義務のない奨学生の給付（月1万円、3年間計36万円）します。

### ライフプランセミナー開催事業

- ・にいがた福祉リーダー塾（第1回後期・第2回前後期）
- ・ライフプランセミナー開催

### 調査研究事業

- ・新潟県民生活実態調査
- ・ソーシャルファイナンスに関する研究
- ・社会的企業の起業についての調査研究
- ・高齢者福祉についての調査研究

### 奨学金貸与事業

2015年度4年制大学に入学または大学生に対し月額2万円、総額最高96万円を貸与する奨学金制度です。

### 文化講演会等開催事業

2014年度は、ろうきん柏崎支店、長岡支店、三条支店、加茂支店、山の下支店で文化講演会を開催します。

### N P O ・ 地域福祉団体助成事業

- ・地域福祉団体への助成（ろうきん各営業店管轄地域）
- ・NPO等助成事業
- ・新潟いのちの電話への助成
- ・新潟県労福協への助成

ろうきん財団の活動は、ホームページでも発信しています。<http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

愛されて 60 周年 たすけあう心を大切に

総合生協の夕食宅配

**お弁当コース**  
1週間あたり **2,575 円**  
〔月～金〕（税込 2,780 円）  
1食あたり **515 円**  
（税込 556 円）

**おかずコース**  
1週間あたり **2,765 円**  
〔月～金〕（税込 2,985 円）  
1食あたり **553 円**  
（税込 597 円）

一部お届けできない地域もございます  
ので、あらかじめご了解ください。

クルコールセンターまで【受付時間】9:00～17:00(月～金)  
**0120-025-261**

ろうきんのキャッシュカードは

**ATMお引出し手数料 0円**

いつでも  
平日・土曜・日曜・祝日、  
利用時間に関係なく  
どこでも  
銀行・ゆうちょ銀行・信金・  
信組・イオン銀行・J.A等

さらにセブン銀行ATMなら  
**24時間ご利用可能!**

24時間

新潟県労働金庫 **0120-191-880** (平日9:00～17:00) **新潟ろうきん** 検索

2014年も暑い夏がやってくる  
ビアガーデンは6月から。前売券まもなく発売予定！

発売予定ホテル  
**新潟東映ホテル**  
**新潟グランドホテル**  
**新潟東急イン**  
**ホテルオークラ新潟**  
**ホテル日航新潟**

ヨープ・トラベルセンターイメージキャラクター TOKICO (トキコくん)

総合生協グループ  
**ヨープ・トラベルセンター**

TEL **025-245-4110** [受付時間] 月曜日～金曜日(祝日除く) 9:00～17:00

ヨープ・トラベルセンターイメージキャラクター TOKICO (トキコさん)